

## 第23回青年対策交流集会に出席して

日本海地方青年部副部長兼境港支部部長 森脇大地

今回の青対で二回目の参加でした。

前回の豊橋のときとは違い、地方が抱える問題を絡めたフィールドワークや労働基準法に関するテスト形式の講座など、楽しみつつも勉強になる青対になったと思います。

大阪の万博問題、IR問題については、報道やネットニュースで見たことや聞いたことはあったものの、実際の内容や問題となる点がどこなのか、港湾にどのような影響があるかなど細かい内容は知らなかったので、非常に勉強になりました。

二日目の視察で初めて現場を見ましたが、二本しかない道路、コンテナヤードと隣接していること、間に合うか分からない工事、当初の予定よりもどんどん増えていく予算など、思っているよりも問題が山積していてとても驚きました。確かに上手くいけば莫大な経済効果が得られるとは思いますがその予想利益の概算すら非現実的な数字で、本当にちゃんと考えているのか疑問です。素人目から見ても上手くいくか怪しいなというのが正直な感想です。ただ、声をあげ続けることによって得られる理解もあると思うので、諦めずに問題提起していくことが大事だと思いました。

今回の青対を通して感じたことは、当事者意識をもつ難しさです。大阪IR問題をはじめ、沖縄基地移設問題、原発問題など、多くは地方が抱える問題です。そういった問題の周知や問題提起をする為に青年対策交流会を使って全国の仲間とともに考え、声をあげていくことが全港湾青年部、ひいては産別労働組合の強みだと思うので、今回学んだことを持ち帰り、境港で活かしていきたいと思います。